

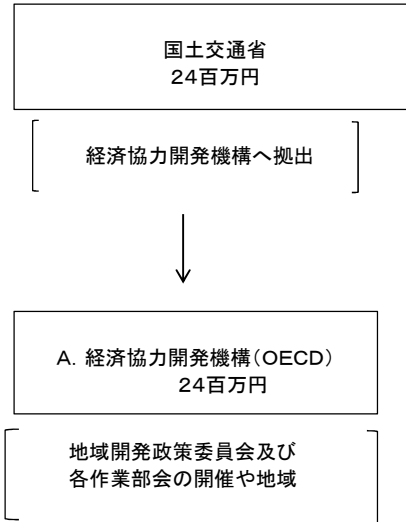
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	経済協力開発機構拠出金	担当部局庁	国土政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	H9～	担当課室	総務課	課長 渡辺 秀樹			
会計区分	一般会計	施策名	40 総合的な国土形成を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	経済協力開発機構(OECD)に設置されている地域開発政策委員会(TDPC)は、先進諸国間で国土・地域政策に関する意見交換を行いうる唯一の場であり、同委員会の活動に対して、資金拠出、人員派遣等を通じて積極的に参加することにより、国土政策分野での国際協力・加盟各国間連携の推進及びEU諸国等の先進的政策の情報収集を行うなど、我が国の国土政策分野における政策立案能力の向上を図ることを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本拠出金は、地域開発政策委員会の作業計画を踏まえたプロジェクトのうち、我が国国土政策にとって有益となる調査研究・資料作成等に充てるためOECDへ拠出するものである。具体的にはOECD諸国の地域パフォーマンス分析と競争優位診断や国別、地域別の国土政策のレビュー(対象国・地域の国土・地域開発の状況や国土・地域政策等についてOECD/TDPCの立場から評価を行い、改善方策等を提言するもの)がOECDにおいて実施されている。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	34	26	24	39	37
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	34	26	24	39	
		執行額	34	26	24		
	執行率(%)	100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国際機関への拠出金であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際機関への拠出金であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	( — )	( — )
単位当たりコスト	— (円/ )	算出根拠	コスト概念が当てはまらない拠出金であるため算出不可				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	拠出金	39	37	通貨レート変更による減額			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	わが国の国土・地域政策においては、まだ解決すべき課題が山積しているため、同委員会の活動に対して、積極的に参加することにより、これまで以上に国土・地域政策分野での国際協力・加盟各国間連携の推進及びEU諸国等の先進的政策の情報収集などを図ることが重要であるため、引き続き拠出する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善②	引き続き、拠出金による成果が政策目的に合致するよう調整を図るとともに、得られた成果の有効活用を図る。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
OECD等の会合で得られた各国の知見を政策立案に有効活用する。さらにOECD等の会合を通じて日本の成果を発表し、世界的なプレゼンスを高める。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
【予算科目】			
・076 国土形成推進費			
・95 総合的な国土形成の推進に必要な経費		(22年度予算額)	(22年度決算見込額)
・95016-2725-16 経済協力開発機構拠出金		24百万円	24百万円

※平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.経済協力開発機構(OECD)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	地域開発政策委員会及び各作業部会の開催や地域別の国土政策のレビュー等を実施	24			
計		24	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構	経済協力開発機構への拠出金	24	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					